

THOMSON

DELPHION

RESEARCH

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

Log Out

Work Files

Saved Searches

My Account

Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwei

The Delphion Integrated View

Get Now: ☒ PDF | [More choices...](#)Tools: Add to Work File: [Create new Wor](#)View: [INPADOC](#) | Jump to: [Top](#)[Email](#)

🔍 Title: **JP60155903A2: METHOD AND INSTRUMENT FOR MEASURING LEN
LONG ARTICLE**

🔍 Country: **JP Japan**

🔍 Kind: **A**

🔍 Inventor: **MATSUZAKA HARUMITSU;
NITTA MASAHARU;**

🔍 Assignee: **NISSHIN STEEL CO LTD**
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)

🔍 Published / Filed: **1985-08-16 / 1984-01-26**

🔍 Application **JP1984000011013**

Number:

🔍 IPC Code: **G01B 5/02; G01B 3/10;**

🔍 Priority Number: **1984-01-26 JP1984000011013**

🔍 Abstract: **PURPOSE:** To make it possible to measure length easily and accurately alone, in measuring the length of a long article to be measured, by aligning the marked line of a magnet to the divided position of said article to be measured and inlaying the hook of a scale with a hooking groove hole in an inserted state to perform measurement.

CONSTITUTION: A marked lines 4 are scored to a substrate 1 comprising a magnet so as to position on the longitudinal extended line of the hooking groove hole 2 provided to said substrate 1. When the length of an article 10 to be measured is longer than a convex rule 6, the magnet 1 is placed on the article 10 to be measured so as to allow the line 11 of a divided position to coincide with the marked lines 4 and the hook 7 provided to the leading end of the convex rule 6 is inlaid with and inserted in the hooking groove hole 2 and this operation is repeated plural times. Therefore, when the article 10 to be measured is longer than the measurable length of the rule 6, the divided position 11 is made to coincide with the marked lines 4 to make it possible to accurately measure a length. Furthermore, when the rule 6 is carried, the magnet 1 is received in the magnet receiving part 9 of a rule case 5 to be capable of preventing the loss of said magnet 1.

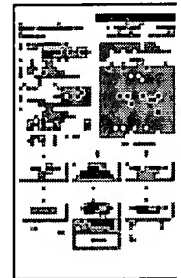
COPYRIGHT: (C)1985,JPO&Japio






🔍 Family: **None**

🔍 Forward **Go to Result Set: Forward references (5)**

References:

PDF	Patent	Pub.Date	Inventor	Assignee	Title



	US6511112	2003-01-28	Schroeder; James A.		Magnetic remote-retrie
	US6427358	2002-08-06	LeBon; Natascha	614332 British Columbia Ltd.	Articulated anchor for i tapes
	US6082017	2000-07-04	Simar; Bryan D.		Magnetic tape measur with a deployment war
	US5894677	1999-04-20	Hoffman; William W.		Measuring device
	US5458946	1995-10-17	White, Jr.; Willie O.		Attachable retainer for measure

Other Abstract
Info:

None



[Nominate this for the Gall](#)

Copyright © 1997-2004
The Thomson Corporation

[Subscriptions](#) | [Web Seminars](#) | [Privacy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact U](#)

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-155903

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)8月16日

G 01 B 5/02
3/10

7428-2F
7428-2F

審査請求 未請求 発明の数 2 (全3頁)

⑮ 発明の名称 長尺物の長さ測定方法及び同測定器具

⑯ 特 願 昭59-11013

⑰ 出 願 昭59(1984)1月26日

⑱ 発 明 者 松 坂 治 光 呉市昭和町11番1号 日新製鋼株式会社呉製鉄所内
⑲ 発 明 者 新 田 正 治 呉市昭和町11番1号 日新製鋼株式会社呉製鉄所内
⑳ 出 願 人 日新製鋼株式会社 東京都千代田区丸の内3丁目4番1号

明 細 書

1. 発明の名称

長尺物の長さ測定方法及び同測定器具

2. 特許請求の範囲

1) 磁性体からなる基板に鉤溝孔(2)を設け、該鉤溝孔(2)の長手延長線上に標線(4)を刻設して成る測定補助具(1)を被測定物の測定線上に磁着し、前記鉤溝孔にコンベックスルール(6)の先端の鉤を嵌挿し、前記標線(4)を基点として長さを測定することを特徴とする長尺物の長さ測定方法。

2) 磁性体からなる基板に鉤溝孔(2)を設け、該鉤溝孔(2)の長手延長線上に標線(4)を刻設して成る測定補助具(1)をコンベックスルール片側面(9)に着脱自在に取付けたことを特徴とする測定補助具付測定器具。

3. 発明の詳細な説明

本発明は鉄鋼製長尺物等の長さ測定に際し、単独で測定可能な測定方法及び同測定器具に関するものである。

長尺物等の長さ測定に際し、被測定物の長さに対してコンベックスルールの測定可能長さが不足する場合には幾度かに分割して測長する必要がある。従来、このような場合には分割位置にコンベックスルールの鉤部を合わせるために、位置合せ者と測定者の2名で測定作業をせざるを得なかった。また、コンベックスルールの測定可能長以内の被測定物であっても、測定基点にコンベックスルールの鉤部を固定するのが困難であった。

本発明は、このような問題を解消して一人でも測定可能にしたものであって、その特徴とするところは、磁性体からなる基板に鉤溝孔2を設け、かつ、鉤溝孔2の長手延長線上に標線4を刻設して成る測定補助具を作り、該補助具を被測定物の測定線上(分割位置又は測定基点をいう。)に磁着し、前記鉤溝孔2にコンベックスルールの先端の鉤を嵌挿し、磁着位置を基点として両方又は一方の長さを測定する方法と、同測定補助具をコンベックスルール(測定器具)の片側面に着脱自在に取付けた測定補助具付測定器具を提供するもので

ある。

以下図面にもとづいて詳細を説明する。

第1図および第2図に示すごとく、ケース5の片面に磁石1を収納するために、磁石形状に対応した凹面形状の磁石収納部9を設け、その略中心部に芯棒8を突設する。該磁石収納部9の形状に対応した形状を有する磁石1の略中心部に芯棒8に嵌挿可能な貫通孔3を設け、該貫通孔3を中心にして左右対称にコンベックスルールの鉤7が嵌挿できる程度の鉤溝孔2を穿設し、鉤溝孔2上辺の一边延長線上の左右に標線4を刻設する。

本発明は、以上のような構造であり、使用に際しては第2図および第3図に示すように、磁石1の標線4を被測定物10の分割位置11に合せて磁着させたのち、コンベックスルール6先端の鉤7を鉤溝孔2に嵌挿する。このとき標線4の延長上の鉤溝孔2上辺がコンベックスルール6側になるように磁着させる。つぎにコンベックスルール6を引き延ばして測長する。さらにコンベックスルールの測長可能長さよりも被測定物が長い場合には

、測長限界点に分割位置を印し、前記と同様操作をくり返す。

また磁石1の収納に際しては、磁石1の貫通孔3をケース5の芯棒8に嵌挿し、磁石収納部9に納める。この時、ケース5が磁性体でない場合には容易に脱落するので、磁石収納部9の一部分に鉄鋼等の磁性体を貼着もしくは埋込む。さらにこのように磁石を収納した状態で、第4図に示すごとく机12などの側壁に吸着し保管する。

尚、本発明の測定補助具の他の実施例として、第5図のように測定器具の片面に補助具を着脱自在に螺着したもの、または第6図のように折りピン式に着脱自在に取付けたものがある。

本発明は以上のような構成であるので、一人で測定が容易かつ正確に測長作業ができる。さらに、磁石収納部に磁石を収納することによって磁石の紛失、あるいは机などの側壁に吸着保管することによって、コンベックスルールが紛失しないなどの効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明の一部をなす測定補助具の斜視図。

第2図は、本発明の実施例斜視図。

第3図は、本発明の実施例側断面図。

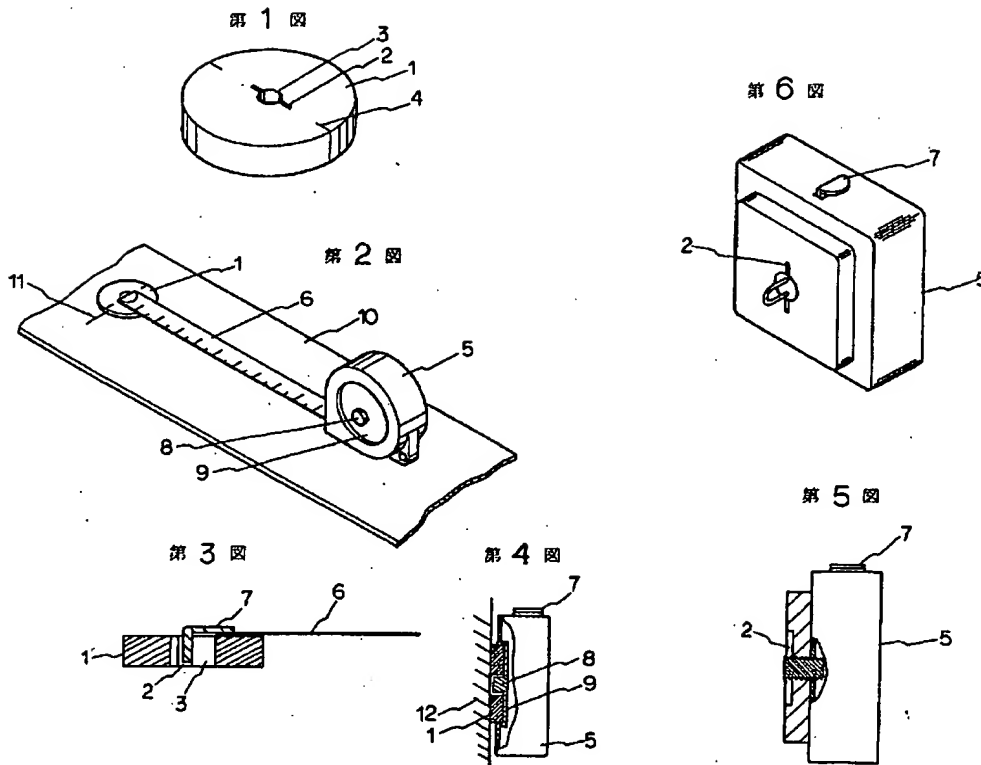
第4図は、本発明の吸着保管の実施例。

第5図は、本発明の滑付測定補助具の斜視図。

第6図は、本発明の螺着保管の実施例。

第7図は、本発明の折りピン式保管の実施例。

- | | |
|----------|--------------|
| 1: 磁石 | 2: 鉤溝孔 |
| 3: 貫通孔 | 4: 標線 |
| 5: ケース | 6: コンベックスルール |
| 7: 鉤 | 8: 芯棒 |
| 9: 磁石収納部 | 10: 被測定物 |
| 11: 分割位置 | 12: 机 |



手続補正書

昭和59年5月7日

特許庁長官 若杉和夫 殿

1 事件の表示

昭和59年 特許願第 11013号

2 発明の名称

長尺物の長さ測定方法及び測定器具

3 補正する者

事件との関係 特許出願人

住所 東京都千代田区丸の内三丁目4番1号

名称 (458) 日新製鋼株式会社
代表取締役 岡部 隆

4 補正命令の日付

昭和59年4月4日

(発送日 昭和59年4月24日)

5 補正の対象

図面の簡単な説明の欄

6 補正の内容

- (1) 明細書5頁の上より6行目の「第5図は、本発明の測付測定補助具の斜視図」を削除する。
- (2) 明細書5頁の上より7行目の「第6図は、」を「第5図は、」に訂正する。
- (3) 明細書5頁の上より7行目の「第7図は、」を「第6図は、」に訂正する。